

札幌厚別高軽音部 芦別で合宿

滝川工と交流も



熱のこもった演奏をする札幌厚別高軽音楽部の部員たち

【芦別】札幌厚別高の軽音楽部が芦別市内で毎年恒例の合宿を行った。星槎国際高芦別学習センターを拠点とし、滝川工業高の軽音楽部も練習に加わり、交流を深めた。

札幌厚別高軽音楽部は全国レベルの強豪で、2019年に芦別で夏の合宿を始め、23年からは冬にも行っている。市内の会社役員らでつくる「音の降る里あしべつプロジェクト実行委員会」が誘致し、毎年、練習会場や宿泊先、食事などを手配している。

今回は7月30日～8月2日に1、2年生の35人が滞在。滝川工業高は初参加だった昨夏に引き続き、口帰りで1～3年の8人が練習に加わった。

3度目の芦別合宿という札幌厚別高2年の森本想部長(16)は「芦別は自然が豊かで空気がきれいで気持ちいい」と満足そうに話した。滝川工業高

2年の小林亮介部長(16)は「札幌厚別高はみんな上手で勉強になる。ぜいたくな時間で楽しい」と目を輝かせた。

(上村衛)